

令和3年度実績に係る指定管理者評価シート(令和4年度評価実施)

(1)指定管理者	社会医療法人 厚生会 (岐阜県美濃加茂市健康のまち1丁目1番地)
(2)指定期間	平成22年4月1日から令和15年3月31日
(3)業務の範囲	(1)病院における診療(診療時間外における救急診療を含む。)及び健康診査 (2)病院の施設及び設備の維持管理に関する業務 (3)病院の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)の収受に関する業務 (4)地方公営企業法(昭和27年法律第292号)第33条の2の規定により委託する手数料の徴収に関する業務 (5)前各号に掲げるもののほか、甲乙協議の上、甲が必要と認める業務

評価の定義  
 ○ 期待どおり又は期待以上  
 △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地がある  
 × 事業の実施に支障あり。あるいは法令違反がある。  
 ( )は前年度評価

協定仕様書	協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	3年度の主な実績	評価結果		市の評価	
					市	委員会		
診療 協21 仕第6	基本的医療機能	【基本的医療機能】 現行診療科の維持	基本的医療機能・入院診療・外来診療 ・職員配置	職員配置(令和4年3月31日時点)  ・常勤医師37人、非常勤医師52人 ・看護師(准看、助産師、保健師含む)常勤150人、非常勤33人	○ (○)	○ (○)	①常勤医師・非常勤医師ともに、前年度を上回る医師数が確保できた。また、臨床研修医が前年よりも2名増加しており、若手医師の受入を積極的に行うことにより病院の活性化に繋がっている。今後も愛知医科大学との連携を強化し、安定的な医師の確保に努めていきたい。 ②コロナを原因とする医療逼迫により全国的に看護師の離職等が報道されている中ではあるが、常勤・非常勤ともに前年度を上回る看護師数を確保することができた。	
	急性期を中心とした外来及び入院医療を提供する	【職員配置】 常勤医師38人、非常勤52人、 看護師(准看、助産師、保健師含む)150人、非常勤35人	・外来診療体制及び外来患者数	外来診療及び診療科の設置状況  ・外来患者数 115,215人(対前年度比3.3%増)。 ・1日平均患者数 392人	△ (○)	○ (○)		
	市民ニーズや他の医療機関との役割分担を踏まえた医療を実施する							
	外来診療	市民の医療需要に対応した専門外来等の実施に努める	【外来・入院患者数】 外来患者数 122,772人 入院患者数 63,420人	・入院診療体制と入院患者数、手術件数	入院診療・手術件数  ・入院患者数 67,415人(対前年度比3.2%増) ・1日平均患者数 185人 ・手術件数1,209件(対前年度比0.7%減)	△ (○)		○ (○)
入院診療	入院診療は急性期疾患を主体とし、併せて亜急性期や回復期リハビリテーションといった市民ニーズに対応した医療の提供に努める							
安全管理に基づく医療の提供	医療法第6条の10及び医療法施行規則第1条の11の規定に基づき、安全管理のための体制を確保し、安全な医療を提供する	【安全管理】 安全管理指針の策定と安全管理委員会、研修の開催 院内感染防止指針の策定と対策委員会、研修の実施 医薬品安全管理者の配置と研修の実施 医療機器安全責任者の配置、研修実施、保守点検計画	・安全管理・医療倫理	安全管理・医療倫理(左記項目に対する実施状況)	○ (○)	○ (○)	①安全対策、医療倫理等の対策について、適切に実施されている。 ②新型コロナウイルス感染症対策として感染症対策専門の認定看護師が配置され、院内研修等適切に実施されている。 ③入院患者への面会を原則禁止とするなど、新型コロナウイルス感染症対策が実施されている。 ④令和2年度に開始した発熱外来を継続して開設したほか、病棟24床分をコロナ病床として患者の受入を行うなど、新型コロナウイルス感染症への対応を行った。	
感染マニュアルを策定し、標準予防策を実施する	【医療倫理】 倫理委員会の設置	安全管理委員会の開催 2回 安全管理研修の実施 2回 院内感染防止指針の策定 院内感染対策委員会の開催 12回 院内感染対策研修の実施 2回 医薬品安全管理者の配置 配置(薬剤部長) 医薬品の安全使用研修の実施 1回 医療機器安全責任者の設置 配置(放射線技術課長) 医療機器安全使用研修の実施 13回 医療機器の保守点検計画の策定及び実施 院内医療機器保守点検計画を策定、日常的に点検を実施 倫理委員会の設置	「多治見市民病院における安全管理のための基本指針」	12回				
医療倫理に基づく医療の提供			患者中心の医療を行う	「多治見市民病院院内感染対策指針」				2回
インフォームド・コンセントを実施する			倫理委員会を設置する	配置(放射線技術課長)				13回
倫理委員会を設置する			院内医療機器保守点検計画を策定、日常的に点検を実施	設置(委員長は院長)				

医師・看護師の確保状況

	H22.3.31		R3.3.31		R4.3.31	
	指定管理前		指定管理移行			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師数	12	23	35	48	37	52
看護師数(准看含)	85	19	144	31	150	33

診療科別医師数(R4.3.31)

科名	常勤	非常勤	科名	常勤	非常勤
内科	12	24	耳鼻咽喉科	1	1
外科	6	1	形成外科	0	4
脳神経外科	1	2	リハビリ	0	1
整形外科	2	2	放射線科	0	1
婦人科	3	2	麻酔科	1	2
皮膚科	1	1	救急科	1	0
泌尿器科	0	5	病理診断科	1	0
小児科	2	6	臨床研修医	5	0
眼科	1	0	合計	37	52

手術件数

	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
内科	25	28	36	18
外科	275	240	351	407
脳神経外科	23	22	21	23
整形外科	289	345	403	367
婦人科	196	254	245	276
皮膚科	1	0	0	0
眼科	121	148	110	83
耳鼻咽喉科	21	10	9	7
形成外科	88	103	43	28
合計	1,039	1,150	1,218	1,209

専門外来の開設(R4.3.31現在)

内科	禁煙外来、呼吸器・アレルギー内科外来、腎臓・リウマチ膠原病内科、不整脈外来 リウマチ膠原病専門外来、心不全特別外来、ペースメーカー外来、OSAS外来、肝臓内科
外科	乳腺外来
整形外科	ギブス外来、リウマチ外来、スポーツ・膝外来、股・膝関節外来
小児科	発達外来、小児腎臓内科外来、小児神経外来、小児循環器外来

	外来患者数(実績)				入院患者数(実績)			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
内科	39,656	43,774	43,641	43,793	31,721	34,217	36,066	36,191
外科	5,317	5,885	6,067	6,423	8,007	8,160	8,793	9,820
脳神経外科	2,974	2,787	2,571	2,831	2,601	3,387	3,295	3,479
整形外科	12,369	13,261	12,479	11,050	10,134	8,688	9,985	9,399
婦人科	5,065	6,320	7,010	8,324	3,033	2,477	2,512	2,115
皮膚科	11,706	11,667	9,123	9,864	1,528	2,213	977	1,528
泌尿器科	3,192	3,741	3,611	3,778	0	0	0	0
小児科	15,352	13,647	9,132	7,778	2,404	2,118	712	766
眼科	5,177	5,420	5,189	5,005	86	469	1,387	2,226
耳鼻咽喉科	7,245	5,897	4,488	4,375	504	1,057	1,596	1,888
形成外科	1,653	1,733	983	948	514	851	0	0
放射線科	1,761	1,993	1,792	1,747	0	0	0	0
救急科	5,801	5,387	5,481	9,299	39	155	21	3
合計	117,268	121,512	111,567	115,215	60,571	63,792	65,344	67,415
対前年度	20.1%	3.6%	-8.2%	3.3%	11.7%	5.3%	2.4%	3.2%

令和3年度実績に係る指定管理者評価シート(令和4年度評価実施)

協定仕様書	協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	3年度の実績	評価結果		市の評価																																																																																																																																																															
					市	委員会																																																																																																																																																																
政策的医療																																																																																																																																																																						
協22 仕第7	救急医療 24時間365日の第二次救急医療体制を組む 休日急病診療に協力する	・令和3年度も引き続き、地域医療機関(診療所など)に対し、救急受け入れ可能診療科や当直・待機体制などの情報提供を行うなど連携を密に取り、診療所の診療時間内や休日急病診療の運用時間内の紹介患者診療時間の拡大(土曜診療の実施)等により、積極的に救急患者を受け入れていきます。 ・常勤の救急担当医とともに当番制による内科外科医師の配置を充実させることにより、断らない救急を徹底し更なる患者の集客に努めるようにします。 ・コロナ禍での患者受入では、感染症対策を十分に行うとともに発熱している患者は発熱外来を救急外来とは別に設けて対応していきます。 また、更なる連携強化を目的に救急隊と多治見市民病院の医師で定期的に症例検討会を開催していきます。	地域医療機関への情報提供の実施状況 救急患者数 救急搬送件数 救急医療体制の状況 休日急病診療実績	・救急科専任医師が総合診療内科医と外科医の2名体制となり、当番制の内科外科医師、研修医も加わり救急搬送の受入態勢が充実した。 ・多治見市消防との連携も症例検討会の開催など順調に行われ、救急搬送患者数は前年より増加し2,000件越えとなった。 ・令和3年度の救急患者数は、11,198件で前年比51.1%の増加となった。 ・土曜日の夜間(主に土曜19時～21時半)54日実施85人 ・休日急病診療(主に日祝の13時～17時)70日実施948人	○ ○	○ ○	①前年度に引き続き救急車の受け入れを積極的に行い、年間救急搬送件数は目標としている2,000件を超えることができた。令和3年度は、多治見市の救急搬送全体の約36%を市民病院で受け入れている。 ②救急医療の体制強化が入院患者数の増にも繋がっている。 ③休日急病診療、土曜の夜間の診療等も着実に実施し、時間外患者数は前年度を大幅に上回った。																																																																																																																																																															
	小児医療 小児医療(小児救急医療を含む)を実施する	・日曜祝祭日も日直体制で小児科常勤医師を配置し、発熱、咳、下痢といった小児に多い急性疾患や地域の小児科医療機関からの紹介患者を積極的に受け入れている。 ・風邪症候群といった小児に多い急性疾患から、夜尿症やてんかん、喘息やアトピー性皮膚炎などの疾患に対する医療を提供していきます。 ・その他腎臓、神経、循環器、アレルギー、内分泌などの専門外来を予約にて行っていきます。	患者数 土日及びオンコール等の体制整備状況	・多治見市民病院は土曜診療も実施しており、特に小児科では発熱、咳、嘔吐、下痢などの症状を訴える小児に多い急性疾患や地域の小児科医療機関からの紹介患者を積極的に受け入れた。 ・日曜、祝日の8:30～17:00の間も、小児科医による日直体制を継続し実施した。 ・小児の救急医療については、風邪症候群・感冒性腸炎といった小児に多い急性期疾患や、さらに重症化した気管支炎、肺炎などははじめ、熱性けいれん、喘息発作など様々な急性疾患に関して365日、日勤帯において積極的に対応した。	△ ○	○ ○	①土曜診療と日祝の日直体制を実施しており、様々な急性疾患や地域の小児科医療機関からの紹介患者を積極的に受け入れている。 ②腎臓疾患、神経疾患や循環器疾患等に関する専門外来も積極的に進めている。 ③発達障害に関する専門外来の患者数が減少した。 ④入院患者数は前年度を若干上回ったものの、患者数は年々減少傾向にあるため、医師の確保を含めた患者数増の対策を講じていただきたい。 【委員会意見】 少子化の流れを受けて全国的に小児科の患者数が減少している中、医師の確保が難しい中においても、よく頑張っていたため、評価は○とする。																																																																																																																																																															
	リハビリテーション医療 運動器リハビリテーション、回復期リハビリテーション医療を提供する	・令和元年度以降、リハビリテーション目的の転院依頼患者をリハ職員が訪問して状態確認を行っています。それによりリアルタイムの患者の状態や、ケアの状況、場合によって家族からの情報を直接伺うことができ、転院患者の早期受け入れにつながっています。令和3年度は現状を継続しつつ、より多くの依頼が受け入れられるようにしていきます。 ・早期退院へ向けた適切なリハビリテーションの提供ができるよう職員スキルのベースアップを図りたい。	リハビリテーションの体制 リハビリテーション実施件数	・R3年度に循環器科医師1名の退職により心疾患リハビリの外来が減少したが、入院患者へのリハビリの提供量を充実させることで全体として前年度より増加した(件数4,617件増、単位数10,021単位増)。 ・回復期リハビリテーション病棟においては、件数は前年の14,374件から15,349件へと増加し、それに伴い単位数も11,477単位増加した。回復期病棟1日平均稼働率R2年度78.2%、R3年度84.2%と増加したことも要因の一つと考える。	○ ○	○ ○	①直営時代には対応していなかった作業療法、脳血管リハビリの分野にも対応している。 ②県病院からの回復期患者の受入も積極的に行い、回復期病棟の1日平均稼働率が前年度よりも増加している。 ③平成28年度から開始した廃用リハビリは年々実施件数が増加しているが、平成29年度から開始した心疾患リハビリは減少傾向にある。 ④平成30年度に施設基準を満たした呼吸器リハビリについて積極的に実施し年々増加している。 ⑤新型コロナウイルスの状況下においても、全体の実施件数は増加しており、急性期から回復期まで状態に合わせたリハビリテーションを提供している。																																																																																																																																																															
	保健衛生事業 生活習慣病の予防・早期発見を目的とした人間ドック、内視鏡ドック、健康診査、保健指導、医療相談等、保健衛生に関する事業を実施する 乳房、骨密度など女性を対象とした検診を実施する 予防接種を行う	・人間ドック、脳ドック、健康診断等の基本的な業務は引き続き実施するとともに、婦人科、乳房、骨密度など女性を対象とした検診にも力を入れていきます。また、単に検査の結果判定の報告だけでなく、詳細な説明を行うとともに、生活習慣や健康維持に対する保健指導を積極的に実施します。 ・コロナ対策としては、室内の換気や受診者に時間を厳守してもらうことで効率性を高め、回転を良くすることで安全に受診者数を確保します。 ・予防接種事業については、現在行っている集団予防接種はこれまでどおり継続し、院内掲示や広報誌、インターネットホームページによるインフルエンザ等の予防接種の推進につとめ、予防接種外来を実施します。また、糖尿病教室や公開健康講座を開催し、市民の健康づくりに寄与します。	健診等の実施件数 保健指導・相談件数 予防接種の実施状況	・令和3年度は前年比で1,000件を超える増加となり、新規企業も10件の契約ができた。 ・具体的取組として、利用者の満足度調査、予約枠の拡大、二次受診率の向上対策、チームワークの強化、システム改善による業務の効率化、すべての業務のマニュアル化、勉強会の実施、職員の自己評価チェックの採用、閑散期を利用した他部署への応援体制など、限られた時間と人数で精力的に取り組むことができた。	○ ○	○ ○	①新規企業の開拓、業務の効率化などに取り組んだ結果、実施件数が前年度から大幅に増加した。 ②広報誌やインターネットを通じた広報活動にも積極的に取り組み、受診者増に繋げることができた。 ③検診受診者のコロナ対策も適切に実施した。 ④健康診断後の保健指導を実施し、市民の健康維持への貢献を進めている。 【委員会意見】 胃カメラ検診を実施するなど、健診事業に積極的に取り組んでいる。																																																																																																																																																															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th></th> <th>30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運動器リハビリ</td> <td>理学療法</td> <td>12,078</td> <td>13,331</td> <td>15,599</td> <td>15,837</td> </tr> <tr> <td>作業療法</td> <td>2,699</td> <td>1,607</td> <td>1,411</td> <td>1,996</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">脳血管リハビリ</td> <td>理学療法</td> <td>3,116</td> <td>3,798</td> <td>2,734</td> <td>3,868</td> </tr> <tr> <td>作業療法</td> <td>2,263</td> <td>2,903</td> <td>2,250</td> <td>2,564</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚療法</td> <td>3,147</td> <td>3,782</td> <td>3,430</td> <td>2,595</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">廃用リハビリ</td> <td>理学療法</td> <td>11,765</td> <td>12,411</td> <td>13,444</td> <td>14,889</td> </tr> <tr> <td>作業療法</td> <td>1,703</td> <td>1,899</td> <td>1,631</td> <td>1,939</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚療法</td> <td>5,733</td> <td>7,225</td> <td>7,754</td> <td>5,857</td> </tr> <tr> <td>がんリハビリ</td> <td></td> <td>1,751</td> <td>1,614</td> <td>1,797</td> <td>1,330</td> </tr> <tr> <td>心疾患リハビリ</td> <td></td> <td>7,963</td> <td>10,100</td> <td>9,300</td> <td>5,807</td> </tr> <tr> <td>回復期リハビリ</td> <td></td> <td>34,078</td> <td>40,393</td> <td>44,572</td> <td>56,049</td> </tr> <tr> <td>呼吸器リハビリ</td> <td></td> <td>571</td> <td>624</td> <td>1,229</td> <td>2,441</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>86,867</td> <td>99,687</td> <td>105,151</td> <td>115,172</td> </tr> </tbody> </table>	種類		30	R元	R2	R3	運動器リハビリ	理学療法	12,078	13,331	15,599	15,837	作業療法	2,699	1,607	1,411	1,996	脳血管リハビリ	理学療法	3,116	3,798	2,734	3,868	作業療法	2,263	2,903	2,250	2,564	言語聴覚療法	3,147	3,782	3,430	2,595	廃用リハビリ	理学療法	11,765	12,411	13,444	14,889	作業療法	1,703	1,899	1,631	1,939	言語聴覚療法	5,733	7,225	7,754	5,857	がんリハビリ		1,751	1,614	1,797	1,330	心疾患リハビリ		7,963	10,100	9,300	5,807	回復期リハビリ		34,078	40,393	44,572	56,049	呼吸器リハビリ		571	624	1,229	2,441	合計		86,867	99,687	105,151	115,172			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>30年度実績</th> <th>R元年度実績</th> <th>R2年度実績</th> <th>R3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック</td> <td>348</td> <td>345</td> <td>268</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>537</td> <td>490</td> <td>142</td> <td>474</td> </tr> <tr> <td>肺がんドック</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>乳がんドック</td> <td>132</td> <td>177</td> <td>156</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>企業健診</td> <td>3,819</td> <td>4,154</td> <td>4,438</td> <td>4,556</td> </tr> <tr> <td>協会健保</td> <td>2,712</td> <td>2,827</td> <td>2,771</td> <td>3,053</td> </tr> <tr> <td>健康診断</td> <td>185</td> <td>173</td> <td>147</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>1,018</td> <td>853</td> <td>783</td> <td>918</td> </tr> <tr> <td>市職</td> <td>774</td> <td>769</td> <td>781</td> <td>782</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>315</td> <td>871</td> <td>756</td> <td>912</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>779</td> <td>755</td> <td>1,154</td> <td>1,203</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>222</td> <td>350</td> <td>404</td> <td>452</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>239</td> <td>340</td> <td>463</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>その他検診</td> <td>254</td> <td>311</td> <td>322</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11,355</td> <td>12,435</td> <td>12,601</td> <td>13,815</td> </tr> </tbody> </table>	項目	30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績	人間ドック	348	345	268	321	脳ドック	537	490	142	474	肺がんドック	21	20	16	17	乳がんドック	132	177	156	187	企業健診	3,819	4,154	4,438	4,556	協会健保	2,712	2,827	2,771	3,053	健康診断	185	173	147	139	特定健診	1,018	853	783	918	市職	774	769	781	782	子宮がん検診	315	871	756	912	乳がん検診	779	755	1,154	1,203	大腸がん検診	222	350	404	452	胃がん	239	340	463	477	その他検診	254	311	322	324	合計	11,355	12,435	12,601	13,815
種類		30	R元	R2	R3																																																																																																																																																																	
運動器リハビリ	理学療法	12,078	13,331	15,599	15,837																																																																																																																																																																	
	作業療法	2,699	1,607	1,411	1,996																																																																																																																																																																	
脳血管リハビリ	理学療法	3,116	3,798	2,734	3,868																																																																																																																																																																	
	作業療法	2,263	2,903	2,250	2,564																																																																																																																																																																	
	言語聴覚療法	3,147	3,782	3,430	2,595																																																																																																																																																																	
廃用リハビリ	理学療法	11,765	12,411	13,444	14,889																																																																																																																																																																	
	作業療法	1,703	1,899	1,631	1,939																																																																																																																																																																	
	言語聴覚療法	5,733	7,225	7,754	5,857																																																																																																																																																																	
がんリハビリ		1,751	1,614	1,797	1,330																																																																																																																																																																	
心疾患リハビリ		7,963	10,100	9,300	5,807																																																																																																																																																																	
回復期リハビリ		34,078	40,393	44,572	56,049																																																																																																																																																																	
呼吸器リハビリ		571	624	1,229	2,441																																																																																																																																																																	
合計		86,867	99,687	105,151	115,172																																																																																																																																																																	
項目	30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	R3年度実績																																																																																																																																																																		
人間ドック	348	345	268	321																																																																																																																																																																		
脳ドック	537	490	142	474																																																																																																																																																																		
肺がんドック	21	20	16	17																																																																																																																																																																		
乳がんドック	132	177	156	187																																																																																																																																																																		
企業健診	3,819	4,154	4,438	4,556																																																																																																																																																																		
協会健保	2,712	2,827	2,771	3,053																																																																																																																																																																		
健康診断	185	173	147	139																																																																																																																																																																		
特定健診	1,018	853	783	918																																																																																																																																																																		
市職	774	769	781	782																																																																																																																																																																		
子宮がん検診	315	871	756	912																																																																																																																																																																		
乳がん検診	779	755	1,154	1,203																																																																																																																																																																		
大腸がん検診	222	350	404	452																																																																																																																																																																		
胃がん	239	340	463	477																																																																																																																																																																		
その他検診	254	311	322	324																																																																																																																																																																		
合計	11,355	12,435	12,601	13,815																																																																																																																																																																		

令和3年度実績に係る指定管理者評価シート(令和4年度評価実施)

協定仕様書	協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	3年度の主な実績	評価結果		市の評価
					市	委員会	
	災害時医療 災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬出並びに被災地への医師・看護師の派遣が可能な体制の整備に努める	・新病院では、ヘリポートや災害拠点病院としての必要な診療設備が整備でき、災害発生時には被災地内の傷病者の受入れが速やかに行えるようになりました。これにより、災害時医療に対するマニュアルを整備し、医療従事者に対し年間を通して定期的に災害医療に対する研修を実施します。 ・災害発生時に必要な救急医薬品、衛生材料及び医療器材、トリアージタック等を整備し、災害時における救護班の編成及び傷病者の受入れが速やかに行えるよう医療要員の非常召集体制を構築していきます。	研修の実施状況 訓練の実施状況	・災害時医療の拠点病院として、ヘリポートをはじめ必要な診療設備を整備し、災害発生時には被災地内の傷病者の受け入れが速やかに行えるように医療従事者に対して災害医療に関する研修を実施。 ・災害発生時に必要な救急医薬品、衛生材料及び医療器材、トリアージタック等を備蓄している。	○ (○)	○ (○)	①トリアージ訓練、災害対策研修を随時実施し、災害発生時に備えた対応を実施している。 ②救急医薬品、衛生材料等を備蓄し、災害に備えた体制を整備している。
地域医療連携							
協23 仕第8	地域医療機関との連携・協力、地域医療の質向上のための取組み 地域医療連携室を設置する 患者や市民への地域医療に対する啓発活動、情報提供活動等、地域医療全体の質を向上させる取組みを行う 医師、看護師、医療技術職員等の養成課程等のための実習及び研修病院として、学生等の受入れを積極的に行う。 研修医の実習場所として、取り組む 養成学校等に職員を講師として派遣する 開業医との症例検討会等を実施し、地域の医療の質の向上に努める	左記の協定事項の着実な実施 開業医との信頼関係醸成(時間外の紹介、CT、MRI等の対応) 目標値として紹介率40.0%、逆紹介率35.0%	紹介患者数(率) 実施した啓発活動 実習の実績(対象、受入人数、実習内容等) 職員の派遣実績 症例検討会等の実施実績	・紹介率32.7%、逆紹介率 26.6%。 ・実習受け入れ(中京学院大学看護学科16人、多治見准看護学校34人、中部学院大学10人、東濃看護専門学校31人、岐阜医療科学大学43人) ・年間を通して医学生延べ35名受け入れ。 ・R1.4月より基幹型研修病院となり、研修医3名が入職。計研修医5名となる。 ・多治見准看護学校に職員派遣(7人38回) ・高齢者施設に特定行為看護師派遣(4施設毎月定期巡回) ・地域連携バスの件数:脳卒中38件、大腿骨8件 ・開放型病棟の実績:0件	△ (○)	△ (○)	①R元年度に初めて30%を超えて以降、30%以上の紹介率を維持しているが、R3年度は前年度よりも2.1%減少し、目標値に達していないため、評価は△とした。 ②地域連携部を通して、開業医との信頼関係構築に努力している。近隣の主要な病院とは地域連携バスを通じて転院の受け入れ、紹介を行っている。 ③基幹型研修病院となってから、積極的に研修医の受け入れを行っており、R2年度末に3人であった臨床研修医がR3年度末は5人となっている。 ④実習生の受け入れ、准看護学校への職員派遣などを通して、地域に貢献している。 ⑤高齢者施設への定期巡回を行い、切れ目のない医療を受けられるネットワークを構築している。 【委員会意見】 地域医療の中核を担う病院として、地域の医療機関との連携をより強化していただきたい。
	市民参加の促進 医療情報、経営情報等の情報公開の推進を図る 病院ホームページの開設、広報誌の発行など病院広報やアンケートなどの広聴を積極的に行う	左記の協定事項の着実な実施	広報の実績 イベントの開催実績	・広報たじみに連載コラム「地域と共に考える医療」(毎月)を掲載。 ・市民公開セミナー、こどもメディカルスタッフの開催はコロナウイルス感染拡大の影響に伴い自粛。 ・『新型コロナウイルスのワクチン接種について』、『健康診断について』、『慢性腎臓病 CKD(Chronic Kidney Disease)』をケーブルテレビと共同作成し放送、院内でもロビーで放映を行った。 ・病院内の無線LAN環境の整備を実施。 ・運営会議他25委員会を随時行った。	○ (○)	○ (○)	①ホームページを開設し、診療案内、医師の紹介等を行っている。「広報たじみ」では、医師等が毎月連載コラムを担当するなど、積極的な広報活動を行った。 ②新型コロナウイルスの影響により、対面によるイベント等を開催することはできなかったが、ケーブルテレビでの放送や院内放送、Youtubeによるインターネット配信を行うなど、工夫した広報活動を行うことができた。 ③コロナ禍における入院患者と家族の面会において、感染症対策のため、オンラインで面会できるようWi-Fi環境を整備した。
	市の施策協力 障害者自立支援法(平成17年法律第123号)第5条第8項に規定する短期入所、多治見市障害者自立支援条例(平成18年条例第42号)第4条第2項第3号に規定する日中一時支援事業の提供事業者となる	左記の協定事項の着実な実施	利用実績	・のべ0人	○ (○)	○ (○)	①日中一時支援事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れを行わなかった。
	介護保険事業等高齢福祉に協力する 介護老人保健施設、介護老人福祉施設の協力病院となる 医療相談室を設置し、市の高齢福祉担当及び居宅介護支援事業所との連携を図る	左記の協定事項の着実な実施	協力病院となっている施設の一覧 医療相談件数	・5施設(ベルツリー、メモリアル光陽、清涼苑、ケアハウスピアンカ、陶生苑) ・医療相談件数 1085件	○ (○)	○ (○)	①5施設の協力病院となっている。また、市外にある介護施設との連携強化にも取り組んでいる。 ②医療相談室を設置し、医療相談を実施。 ③高齢福祉課や福祉課、居宅介護支援事業所等と連携し、退院後の施設紹介等を行っている。
施設等の維持管理							
協26.31 仕第11	施設の維持管理 患者安全を第一に考え、施設機能面から診療に寄与する施設の維持・管理を行う 衛生管理、感染防止に基づく維持・管理を行う 病院施設として予防保全に努める	施設管理計画書・・・施設箇所ごとに法令検査又は自主検査計画	施設管理計画の実施状況	法令又は自主検査を適正に実施 【主な施設】 毎月検査施設 6(エレベーター等) 年2~4回検査施設 11(空調設備等) 年1回検査施設 17(電気設備等) ※地下タンク貯蔵所の清掃は3年に1度。令和3年度に実施、次回は令和6年度に実施予定。	○ (○)	○ (○)	①施設管理は適切に実施されている。 ②医療機器等については、回診用X線撮影装置・小児科用超音波診断装置などを新たに購入した。また、オーディングシステム(※)の更新を行った。 ※医師や看護師が行う検査や処方などの指示を電子的に管理する医療情報システム
				【参考】 ① 収益合計5,816,185千円(入院収益3,455,125千円 外来収益1,609,609千円 等) ② 費用合計4,974,601千円(給与費2,622,234千円 材料費1,168,547千円 経費829,357千円 等) ①-②=841,584千円(利益(経営支援補助金を含む))	-	-	①指定管理移行後、最大の黒字額を計上した。 ②新型コロナウイルスに関連する補助金等を除いても黒字額を計上しており、大変な経営努力が行われている。